

# IPネットワーク設備委員会 審議経緯

平成19年4月2日

# 「ネットワークのIP化に対応した電気通信設備に係る技術的条件」の審議経緯

平成17年11月～平成19年1月（情報通信審議会諮問第2020号、H17.10.31諮問、H19.1.24答申）  
IPネットワーク設備委員会において検討（第1回～第5回委員会）

※IPネットワーク設備委員会に技術検討作業班を設置して検討。  
技術検討作業班においては、次世代IPネットワーク推進フォーラムと連携。

ネットワークのIP化の進展に対応するために必要な検討課題のうち、  
「0AB～J番号を使用するIP電話の基本的事項に関する技術的条件」を答申

## 今後の検討課題

主な課題として以下のものが挙げられる。

### 【0AB～J番号を使用するIP電話の基本的事項以外のIP電話に関する課題】

- ・050IP電話、テレビIP電話、高品質IP電話などの品質等に関する課題
- ・社会的動向や必要性を見ながら検討を要する様々な課題

### 【新たなサービス等に関する課題】

- ・コンテンツ配信サービス、迷惑メール抑止手段、固定・移動シームレスサービス、重要通信・緊急通報の新たな確保方法、端末・ネットワークとの接続に関わる課題

（参考）

IP系サービスの災害・事故への対策については、委員会に別途設置している安全・信頼性検討作業班において、ネットワークの管理・運用面も含めて総合的な検討を行っているところ。4月に作業班報告をとりまとめ。

# (参考) IPネットワーク設備委員会報告(H19.1) 第7章「今後の検討課題等」の抜粋

## 【0AB～J番号を使用するIP電話の基本的事項以外のIP電話に関する課題】

主な検討課題として以下のものが挙げられる。

- (1) 050番号を使用するIP電話に関して、電話サービスに最低限必要とされる品質レベル等
- (2) IP電話において広帯域音声符号化方式を利用してより高い品質を実現できるサービスに関して、その品質レベルの考え方や、ネットワーク端末間のインタフェース条件等
- (3) 動画を付加したテレビ電話等、IP電話に様々なアプリケーションが付加されていくことが想定されるが、そうした付加的なアプリケーションの品質確保等の考え方や、ネットワーク端末間のインタフェース条件等
- (4) 端末設備の技術基準に関して、新たな機能の具体的な技術方式の実現における、試験方法等の具現化
- (5) その他に留意すべき課題として、社会的動向や必要性を見ながら検討を要する課題として以下のものが挙げられる。
  - ① 発信者番号より発信者の位置を特定する逆探知
  - ② 端末への迷惑行為に対して端末に特定の通信を拒否する機能を搭載する等の対策
  - ③ 端末のバッテリー搭載等停電対策の考え方
  - ④ 重要通信以外の一般的な音声通信について、他の音声以外の通信に対して優先的に取扱う等の在り方
  - ⑤ 広域災害に対して、「災害基本法」、「大規模地震対策特別措置法」、「武力攻撃事態における国民の保護のための措置に関する法律」等の関連法令をもとに、防災計画や緊急時の連絡体制等の備えが図られているが、これら連絡手段の統一的な方法

## 【新たなサービス等に関する課題】

主な検討課題として以下のものが挙げられる。

- (1) コンテンツ配信サービスのネットワークモデルの具現化とともに、品質条件等の品質・機能の確保、ふくそう対応等の安全性・信頼性の確保、相互接続・運用性の確保の在り方等
- (2) 迷惑メールの今後の進化やIPネットワークの発展性を考慮し、ネットワークとメール配送機能の連携による迷惑メールの抑止手段の可能性等
- (3) 固定・移動シームレスサービスについて、アクセス手段の変化を考慮した最適な通信品質の確保の在り方等
- (4) 新たな重要通信、緊急通報の確保方法として、IPネットワークにおける電話以外の多様な通信サービスに関して、災害時や緊急時における重要通信・緊急通報としての利用の新たな可能性
- (5) ホームネットワーク等の端末側に多様なサービス・機能を有する端末網が発展することが想定されるが、こうした端末網の品質の基準の考え方、ネットワークから端末までの相互接続性の確保、ネットワークと端末の機能分担・連携の在り方等